日本第四紀学会　2017年大会　発表申込書

（共催：日本応用地質学会用）

本申込書はメールの添付ファイルとして提出してください．メールのタイトルは「発表申込\_筆頭発表者名」としてください．一般研究発表（共催セッション）は，日本応用地質学会会員でも筆頭発表者になれます．

送付先メールアドレス：jaqua.event(at)gmail.com　（at を @ にかえる）

◆氏名・所属：

◆発表タイトル：

◆筆頭発表者の連絡先　 電　話　番　号 ：

メールアドレス ：

◆発表を希望されるセッション　 カッコ内にご希望の発表セッション番号をお書きください．（共催セッション：２「陸上の諸プロセス」，３「層序と年代」，５「現代社会」）

第１希望のセッション番号（　　）

第２希望のセッション番号（　　）

第３希望のセッション番号（　　）

◆希望される発表形式　　いずれかに○印をつけてください．

口頭発表（　　）　ポスター発表（　　）　口頭/ポスターどちらでもよい（　　）

◆講演要旨執筆上の注意の確認

以下の「講演要旨執筆上の注意」を理解し，その内容を遵守するならば次の文章に氏名を記入して下さい．

**私，（ 　　　）は「講演要旨執筆上の注意」を理解し，その内容を遵守します．**

講演要旨執筆上の注意

　2017 年 5 月現在，講演要旨の著作権につきましては，厳密な規定がありません．そこで，現段階では基本的には発表者の方に著作財産権があるものと判断します．一方，昨今の知的財産権をめぐる情勢から見て，送付いただいた講演要旨に図の転載許可が得られていないものや，文献の引用が不十分なものがあると，問題が生じる可能性があります．従いまして，以下の点についてご注意の上で執筆下さるようにお願いします．なお，これらに照らし合わせて問題があると判断された講演要旨原稿については，原稿受付後であっても再提出を求める場合があります．

1）既存の出版公表物などに対する知的財産権へのいかなる侵害も含まないこと．

2）他から転載されている全ての図表について，転載許可を得ていること．

3）他の論文等の引用がある場合には，当該文献を全て明記する．引用形式としては，「竹内ほか（2005）第四紀研究 , 44, 371-381.」などのように，引用箇所が判別できる限りにおいて簡略化して構わない．

4）日本第四紀学会の名誉を傷つけ，第四紀研究の信用を毀損する盗用データ，捏造データ，その他，当学会の倫理憲章に反するものを含まないこと．

5）講演要旨についての問い合わせ，苦情，紛争などが発生した場合，発表者はすべての責任を負うこと．

一般講演のセッション一覧：　　　　 　　　 　　　　　　 別紙

（共催セッションをゴシックで示す）

・セッション１「大気と海洋」

　コンビーナー：村山雅史（高知大）、七山　太（産総研）、加 三千宣（愛媛大）、浅海竜司（琉球大）

　キーワード：

a) 気候変動、大気・海洋循環、氷河・氷床、海洋酸素同位体比、地球軌道変化

b) 海水準変動、海底・海岸の地形と堆積物

・セッション２「陸上の諸プロセス」

　コンビーナー：堀　和明（名古屋大）、松多信尚（岡山大）、宮縁育夫（熊本大）、苅谷愛彦（専修大）、井上　弦（神奈川県農業技術センター）、片岡香子（新潟大）

　キーワード：

a) 地形発達、古地震、構造運動、噴火史

b) 寒冷地域の地表プロセス、土壌、陸水（湖沼、河川、地下水）

・セッション３「層序と年代」

　コンビーナー：里口保文（琵琶湖博）、竹下欣宏（信州大）、山田和芳（ふじのくに地球環境史ミュージアム）、下岡順直（立正大）、箱崎真隆（歴博）

　キーワード：

a) 編年、層序、対比、広域テフラ、年代指標

b) 年代測定（測定方法とその適用事例を含む）、年代決定

・セッション４「人類と生物圏」

　コンビーナー：小池裕子（九州大）、米田　穣（東京大）、工藤雄一郎（歴博）、杉山真二（古環境研）、藤木利之（岡山理大）

　キーワード：

a) 考古、古人類、食性分析、環境適応、人為生態系

b) 動物、植物、生物地理、古生態、植生変化

・セッション５「現代社会」

　コンビーナー：井村隆介（鹿児島大）、香川　淳（千葉県環境センター）、品川俊介（土木研）、西山賢一（徳島大）、小森次郎（帝京平成大）

　キーワード：

a) 環境問題、災害、応用地質、工学、地盤、自然改変

b) 地学・地理教育、自然・文化遺産保護、ジオパーク